

ほんぎよう しんせい
「陶器」と「磁器」 瀬戸の軌跡、ここに

愛知県陶磁美術館開館40周年記念特別企画展

平成30年
10月27日(土) — 12月16日(日)

江戸時代の本業と新製



Seto, Hongyo and Shinsei ware:
Lasting ceramic industry in Edo period



かく焼き繋ぎ



愛知県陶磁美術館本館
第1・第2展示室

開館時間:午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで) 休館日:毎週月曜日
*ただし、10月27日(土)は開会式のため観覧は午前11時から

主催:愛知県陶磁美術館 共催:中日新聞社 後援:愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)
観覧料:一般900円(720円)、高校・大学生700円(560円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
各種割引制度があります。詳しくは本展チラシもしくは公式WEBサイトをご覧ください。

同時開催 愛知県陶磁美術館 開館40周年記念テーマ展示
「愛知県史 別編 文化財5 工芸」刊行記念 愛知うつわ物語 -江戸・明治のやきもの-



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234
TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932 http://www.pref.aichi.jp/tojji

上から:
美濃手片口 瀬戸・江戸時代後期(18世紀後期~19世紀) 個人蔵
座蒲袖貼付粗繪金文鉢 瀬戸・瀬戸蔵次郎 明治時代前期(19世紀) 宮内庁蔵
獅子座文珠型香炉 瀬戸・川本半助(六代) 明治時代中期(19世紀) 宝泉寺蔵
染付唐草文茶臼 瀬戸・加藤若右衛門 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵
戸山焼 江戸時代前期(17世紀) 東京都立博物館蔵
瀬戸陶器之図 亀井半二 天保14(1843)年 個人蔵

瀬戸では、在地の窯屋に加え江戸時代初期に尾張藩によって美濃より召還された窯屋などによる陶器生産が盛んになりました。その後、江戸時代後期に磁器生産が本格化しました。このため、従来より行ってきた陶器生産を本来の仕事という意味、さらに、それに対する自負を込めて、自らの仕事を「本業」と呼び、磁器生産は「新製」と呼び分けることとなりました。明治時代には、工芸品の海外輸出が本格化する中で、瀬戸の磁器製品は世界を舞台に脚光を浴びました。瀬戸はこのように、「焼き繋ぎ」ながら現在の姿を形作ったのです。

本展は江戸時代を通して瀬戸の本業と新製を取り上げ、その代表的作例、記年銘のある作品などを展示し、現在の窯業地・瀬戸の礎となったやきものづくりを紹介するものです。



1. 三島写(藤袴)茶碗 御深井 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵
2. 染付祥瑞写手桶形水指 瀬戸・伝・加藤民吉 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵
3. 染付葵唐草文四段重箱 瀬戸 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵
4. 緑釉貼付雲龍文水壺 瀬戸 江戸時代後期(18世紀~19世紀) 愛知県陶磁美術館蔵
5. 鉄絵花鳥文中皿 瀬戸 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵
6. 鉄絵花唐草文燭風炉 瀬戸 江戸時代後期(19世紀) 名古屋博物館蔵
7. 染付五経文煎茶碗 瀬戸・川本治兵衛 江戸時代後期(19世紀) 瀬戸蔵ミュージアム蔵
8. 鶏ノ斑袖手鉢 瀬戸・加藤春佐 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

関連催事

記念鼎談「瀬戸ーかく焼き繋ぎ」 長年、瀬戸の調査・研究・展示に関わってきた3名が瀬戸のこれまでとこれからを語ります
 日時：11月4日(日) 午後1時30分~3時
 講師：仲野泰裕氏(元・愛知県陶磁美術館副館長)
 服部文孝氏(瀬戸市美術館長)
 前田博氏(尾張古陶磁研究家)
 会場：本館地下1階講堂 定員：200名 申込不要、参加無料

スペシャルギャラリートーク
 日時：11月17日(土) 午後1時30分~3時
 会場：本館1階第2展示室
 講師：室内庁管理部署団課職員
 申込不要、参加無料
 (本展観覧券が必要です)

ふれる作品鑑賞会「ふれて楽しむ瀬戸」
 日時：12月1日(土) 【第1回】午前10時30分~12時
 【第2回】午後1時30分~3時
 講師：仲野泰裕氏(元・愛知県陶磁美術館副館長)
 会場：本館内 各回定員15名
 申込：メールもしくは往復はがき、参加無料

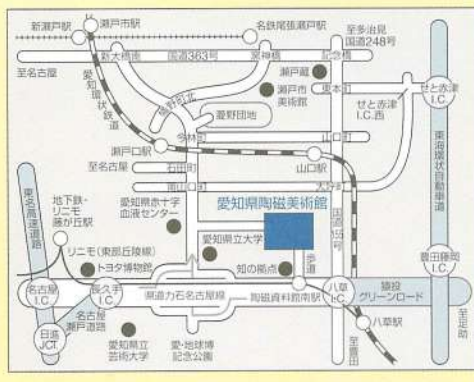
ギャラリートーク
 日時：【第1回】10月28日(日)、【第2回】11月25日(日)
 【第3回】12月9日(日)、【第4回】12月15日(土) いずれも午後1時30分~2時30分
 会場：本館1階第1・第2展示室
 講師：当館学芸員(第1回、第3回)、仲野泰裕氏(第2回、第4回)
 申込不要、参加無料(本展観覧券が必要です)

ワークショップ「やきもの技法から瀬戸を知る 染付 眞窯・加藤眞也」
 日時：11月18日(日) 午後1時30分~3時30分
 会場：陶芸館
 講師：加藤眞也氏(眞窯)
 申込：メールもしくは往復はがき *要参加費 ※詳細は公式WEBサイトをご確認ください。

瀬戸市内の美術館展覧会情報
瀬戸市美術館 TEL 0561-84-1093
 瀬戸市制施行89周年記念・特別企画展
 第33回風景の会絵画展「瀬戸を描く」
 10月6日(土)~11月25日(日)
 特別展「東京国立近代美術館工芸館名品展
 多彩なる近現代工芸の煌めき」
 12月1日(土)~平成31年2月17日(日)
瀬戸蔵ミュージアム TEL 0561-97-1190
 企画展「明治150年記念
 明治時代の瀬戸窯業~超絶技巧の世界~」
 8月4日(土)~11月4日(日)
 企画展「建物のキョークー瓦・タイル・テラコッタ」
 11月10日(土)~平成31年2月3日(日)

瀬戸市新世紀工芸館 TEL 0561-97-1001
 企画展「アーティスト・イン・レジデンス展」
 10月13日(土)~11月11日(日)
 「第7回そば窪口アート公募展」
 11月17日(土)~平成31年1月20日(日)
染付工芸館 TEL 0561-89-6001
 企画展「明治時代の瀬戸染付
 一小品を中心に」
 9月26日(水)~12月27日(木)

次回展覧会のお知らせ
 愛知県陶磁美術館開館40周年記念企画展
 「愛知県陶磁美術館の
 受贈外国陶磁コレクション選」
 平成31年1月12日(土)~3月24日(日)



(アクセス) 公共交通機関
 地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車。リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車。徒歩600m / 名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車。「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「豊野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ) / 愛知環状鉄道「八草」下車。リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車。徒歩600m
自家用車(駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容)
 東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から足助、瀬戸方面に約5km / 東名高速道路「名古屋IC」・名二環道「本郷IC」から瀬戸、長久手・足助方面に約10km / 愛知環状自動車道「せと赤津IC」から約7km
タクシー
 地下鉄東山線、リニモ「藤が丘」駅から約20分 / 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

割引引換券 100円割引
 一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
 本券1枚につき1名。上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引
 一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
 本券1枚につき1名。上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引
 一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
 本券1枚につき1名。上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引
 一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
 本券1枚につき1名。上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

愛知県陶磁美術館 セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM
 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234
 TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932
 公式WEBサイト <http://www.pref.aichi.jp/touji>